

令和6年度第2回 青梅市工業振興対策審議会 会議録

日時 令和7年2月17日（月）午前10時00分開始

場所 青梅市役所議会棟3階 第3委員会室

出席者

委員（敬称略）

林 英夫、久保 安宏、吉澤 清志、
渋谷 貴子、井戸 功誠、池田 政教

事務局

渡部地域経済部長、並木商工業振興課長
加納工業振興係長、森田商業労政係長、星野主任

欠席者

委員（敬称略）

岩田 雅行、樋口 明久

次第

- 1 開会
- 2 地域経済部長挨拶
- 3 会長および副会長選出
- 4 会長開会および開議宣言
- 5 協議事項1「青梅市商・工業振興プランの一部改訂について」
- 6 協議事項2「令和6年2月19日の諮問に対する答申について」
- 7 その他
- 8 会長閉会および閉議宣言

発言要旨

- 5 協議事項1「青梅市商・工業振興プランの一部改訂について」
（事務局説明）

委員 新旧対照表の「施策方針1 - 施策1」で、地域の保育所状況の文言を削除した理由は。

事務局 青梅市においては、待機児童が実質ゼロであることを鑑みて、削除している。

委員 人数の問題ではない。保育は「質」が求められている。

事務局 委員指摘の通りである。保育の状況は、地域において、働く上で

の重要なファクターであると捉えている。

委員 そうであれば、あえて、削除する意味はないように思う。

事務局 委員意見を踏まえ、この文言削除は再度検討する。

委員 新旧対照表の「施策方針 2 - 施策 1」で、新たな産業用地の整備促進について述べられているが、市外からの誘致というよりは、市内事業者への施策が優先ではないのか。

事務局 この点は、今井土地区画整理事業の進捗状況との兼ね合いがあるため、まだ確定していない部分も多い。市内関係団体と話し合いをしていく。市内事業者の雇用創出や企業間連携に繋がるようにしたい。

委員 隣接する入間市との産業立地の競合についての認識は。

事務局 埼玉県と入間市の動向を引き続き注視したい。

委員 新旧対照表の「施策方針 2 - 施策 1」で、「物流産業『等』』としている理由は。

事務局 物流産業以外の用途を指している。

委員 新町にデータセンターが立地を検討していることを鑑みれば、プランには、「強固な地盤をもつ」等の地域性、青梅らしさをアピールする文言の記載を検討してもよいと考える。

委員 地盤の話に関連して。青梅市の商・工業振興プランにも関わらず、青梅市の事業者に対してどうしていくのかというビジョンが弱いのではないか。

事務局 地盤が強固と言われてはいるがエビデンスがなく、強固な地盤であると明言するのは難しい。一方で、「青梅、羽村地区工業用水道企業団」による豊富な工業用水の供給がある等、圏央道青梅インターチェンジ付近は、事業者にとって、魅力的な立地にあることは事実である。青梅らしさのアピールは、プランの全面改訂での記載を検討したい。

会長 質疑は以上とする。本日の審議会および商業審での御意見を踏まえ、最終的な文言等の調整は会長に一任いただき決定とすることで御異議ないか。

委員 異議なし。

6 協議事項 2 「令和 6 年 2 月 1 9 日の諮問に対する答申について」 (事務局説明)

会長 ただいま事務局から説明のあった答申案を最終的な答申として

決定することで御異議ないか。

委員 異議なし。

事務局 プランの一部改訂について決定を賜り、感謝申し上げます。地域の保育所状況の文言を含め、本日の議論内容をもとに、会長と最終調整を行い答申へと進める。なお、令和7年度、8年度の2ヶ年をかけて、今度は全面改訂を行うため、今回の一部改訂に盛り込めなかった施策等は、全面改訂の中で検討する。